

1. 件名

評価結果と収集データ属性の関連性に関する調査

2. 目的

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）では、NEDOが実施した研究開発事業（ナショナルプロジェクト及びテーマ公募型事業）の開発成果が社会にもたらす効果・便益を把握することによって説明責任の向上を図るとともに、NEDOの研究開発事業のマネジメントや企画立案機能の向上に資することを目的として、プロジェクト等の評価及び追跡調査を実施している。

NEDOのプロジェクト評価は、プロジェクトごとに外部委員で構成される評価分科会によって行われ、各委員による評点の平均点及び全員のコメントをまとめて作成した総合コメントが、研究評価委員会による承認を経て評価報告書にて評価結果として公開される。評価分科会ごとに得られるマイクロデータである各委員の評点及びコメントと収集データ属性の関連性及びそれらと総合コメントとの関連性を知ることは、より偏りのない評価のために有用であるが、現在まで定量的に調査されたことはなかった。

本調査では、NEDOのプロジェクト評価における収集データ属性と評価結果の種々の段階での関係进行分析することによって、収集データ属性が評点付け及びコメントの傾向に与える影響等を把握し、評価結果のより一層の公正性に寄与する知見を得る。

3. 内容

上記の目的を達成するために下記項目を実施する。調査の実施にあたっては、NEDOとの密接な連携の下で行うものとする。

（1）分析内容の決定

評価結果と収集データ属性の関連性の分析内容を提案し、NEDOと協議して決定する。分析内容の例として、評点及びコメントの性質と委員の属性との関係や、コメントのテキストと評点の関係が挙げられるが、これらの他にも提案を行う。

決定した分析を行うために最適な新規評価データセット（エクセルあるいはアクセスベース）の形態をNEDO評価部の既存の保有データを参考にして考案する。

考案したデータセットを作成し、既存保有データ及びNEDOから別途提供する詳細属性データを入力し、入力作業内容を確認する。詳細属性データの概算入力数は行数（対象プロジェクト数 350）と列数（各プロジェクトの平均委員数 7×平均 12 のデータ[委員一人あたりの属性数、評点数、コメント数の和]）の積でおおよそ 30,000 セルである。詳細属性データの入力にあたっては、例としてNEDOが提供する詳細属性データ（エクセル）から必要項目を抽出して csv 化したファイルからインポートする等の一貫した手順で対応し、目視による手入力等転記ミスが起こらない方法とする。

（2）分析・考察

上記（1）で決定した分析内容について、作成及び追加入力を行った新規データセットを用いて分析を実行する。分析項目には、必須項目として（1）で協議したそれぞれの関係性についての分布、偏差等の統計値を必ず含むこと。また、その分析結果の考察、別手法の提案を検討すること。

4. 調査期間

NEDOが指定する日から2022年10月28日まで

5. 報告書

提出期限：2022年10月28日

提出方法：NEDOプロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

7. その他

- (1) NEDOから提供するデータのうち、DVD-R等に格納して提供するものについては、調査完了日までにNEDOに返却すること。また、提供データを保存したパソコン内から本調査内で作成したデータを含めて、全て削除しNEDOへ報告すること。
- (2) 調査の進捗状況は、NEDOの求めに応じて随時報告する（2回/月程度）とともに、必要に応じて外部有識者の意見を聴取し調査に反映させること。またNEDOの求めに応じて、NEDOが設置する委員会等で説明等を行い、委員の意見等を調査に反映させること。
- (3) 本仕様書に定めなき事項については、NEDOと実施事業者が協議の上で決定するものとする。